

平成25年度 人間科学技術交流会

## 自己チェックを活用した 安全指導手法

人間科学研究部(安全心理)  
井上 貴文

Railway Technical Research Institute

平成25年度 人間科学技術交流会

### 安全指導のやり方の提案

→本人の自発的な工夫をコーチングで支援

安全性向上のための自主的な工夫を、運転士自身が考えたり、実践したりすることが、安全態度を向上させる

Railway Technical Research Institute

平成25年度 人間科学技術交流会

### 提案する「心理検査を活用した安全指導手法」

Railway Technical Research Institute

平成25年度 人間科学技術交流会

### 自己チェックとフィードバック

#### 日常的注意経験質問紙

26項目で自己チェックする

職業生活の中で注意の能力や傾向を調べるもの。  
大阪大学篠原教授の許可を受けて使用。

試行時は32項目...

職業生活の中で注意の能力や傾向を調べるもの。 大阪大学篠原教授の許可を受けて使用。	はまらない	まったくあて	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	とてもあてはまる
自分自身の集中力は思い通りにコントロールできる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
二つのことを効率よく組み合わせる方法にすぐ気づく。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
会話中に、まわりの出来事に気をとられて、相手の言葉から注意がそれることがよくある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

Railway Technical Research Institute

平成25年度 人間科学技術交流会

### フィードバック用紙例

#### 自己チェック結果のご報告

注意を集中する能力	注意のそれやすさ	上手に注意を割りふる能力
自分の意思や作業の優先順位はしっかり、自分の意思(集中力)を思った通りに高めることができる能力。	自分の意思(集中力)を思った通りに高めることができる能力。	複数の課題や作業を同時にこなすことができる能力。

#### 日常的注意経験質問紙

あなたの注意傾向を調べるもの。大阪大学篠原教授の許可を受けて使用。

あなたは、注意を集中することが得意な方ですか？

その場面時、ときに、あなたにとって事故防止上重要な場面があるかもしれません。

あなたは、2人が並行して作業をする場面、自分の意思に反して、注意が過剰な対象物や作業に集中してしまう場面はありますか？

その場面時、ときに、あなたにとって事故防止上重要な場面があるかもしれません。

あなたは、複数の作業を同時にこなす場面、複数の課題を同時にこなす場面はありますか？

その場面時、ときに、あなたにとって事故防止上重要な場面があるかもしれません。

上で思いついた場面に対し、自分でどのような対応ができるかを考えてみてください。グループ討論と面談で話し合ってください。

Railway Technical Research Institute

掲載：(株)東日本旅客鉄道 人間科学研究部 安全心理

平成25年度 人間科学技術交流会

### 自己チェックとフィードバックのアンケート結果

#### フィードバック

3つの注意特性について、得意、中程度、苦手の3段階に評価した結果を返却

あなたは注意の集中が苦手のようです

アンケート

納得できたか(4段階評価)  
「納得できる」「やや納得できる」が延べ91名中78名(86%)

事故防止に効果あるか(4段階評価)  
「役立つ」「やや役立つ」が延べ105名中84名(80%)

Railway Technical Research Institute

### グループ討議

前半は心理特性について事故事例を使って解説を行う。  
後半は、類似の経験、事故防止の自主的工夫について話し合う。

5名程度のグループに分ける  
以下を討議し、発表する。

- 1) 自分が心配な心理特性は何か
- 2) エラー事例と類似した体験
- 3) 事故防止のための工夫



	心配している人数	類似体験	工夫
注意を集中する能力			
注意のそれやすさ			
上手に注意を割りふる能力			



### グループ討議のアンケート結果



理解が深まったか(4段階評価)

「深まった」「やや深まった」が55名中50名(91%)

アンケート

事故防止に効果あるか(4段階評価)

「役立つ」「やや役立つ」が55名中49名(89%)



### 面談とアンケート結果

本人が心配な特性について、  
今後、どのような工夫を行っていくか、  
それをどう支援していくかを相談する。  
15分程度



アンケート 事故防止に効果あるか(4段階評価)

「役立つ」「やや役立つ」が31名中25名(81%)



### まとめ 心理検査を活用した安全指導手法

